

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キラキラ本郷町		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	コミュニケーションを主体とした集団活動	学習や自由時間における個別の過ごし方を提供しながら、運動や工作を通じた集団活動で子供たち自身が自主的にあるいは自治的な活動の展開ができるような支援を行っております。	一人ひとりの好みや意欲を大切に具体的な準備を行い、個別の特性や能力に合わせることは前提にしつつも、全体的にレクリエーションの内容のレベルを底上げしていくことも必要課題と考えております。
2	所属スタッフの経歴の多様性	多様な経歴や経験則があるからこそ日頃からお互いの支援や価値観について話し合いを出来る関係性の構築を心掛けております。	福祉分野以外の職務に携わっていたスタッフや、学校教務の経験があるスタッフなどが所属しています。経歴の多様性による様々な考え方や視点から、支援や業務についての意見の交換を積極的に行くと同時に、随時事例検討では専門機関からの適切なアドバイスを賜りながら支援に努めてまいります。
3	ブログによる日々の活動の発信	定期的に更新を行っており、写真を添付し活動内容が分かりやすい形で発信できるように取り組んでおります。	継続することで保護者/外部の方に日々の活動内容を周知していただき、また勤務外のスタッフも活動内容を把握できることが望ましいと考えております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会	放課後児童クラブ/地域のほかの子供と交流する機会を、現在活動として提供できていないことが要因の一つとして挙げられます。	保護者の方の要望を伺いながら、必要とされている交流の方法を検討してまいります。休校日には課外活動の一環として外部の公共施設へお出かけし事業所外での交流自体は定期的に設け、利用者様から厚いご支持をいただいているため継続して実施できる体制を整えてまいります。
2	施設環境整備	記録義務書類の作成や支援時間の確保等を大前提に優先し全体の整備に対して後手になる箇所も度々見受けられることが要因の一つとして挙げられます。	経年劣化に伴う部分は年度改修に取り組んでおります。また施設構造上、換気面に課題を抱えておりましたが、安全面に考慮しながら正面扉の開閉を行い、新しく換気扇を室内に設置することを検討しております。室内や送迎車輛の定期的な清掃/清潔保持についても業務フローなどを活用し時間確保の強化に努めてまいります。
3	スタッフ/利用者様/情報の固定化	法人内において単一事業所となるため、人材や支援面などにおいて比較対象や客観的視点での評価範囲が限定されてしまいがちなこと、ならびに利用上限人数の関係で新規利用者様のご希望にお応えし難いケースが発生しやすいことが要因の一つとして挙げられます。	業務や支援内容に関し、スタッフ全員で共通認識を図り施設運営に関与していると実感できるようにモニタリングを含めた会議を随時実施し話し合いの場を設けております。その反面、第三者機関による評価が未実施のため閉塞的な情報環境を防ぐためにも、リタリコを活用や行政など関係所掌へ確認を図りながら施設運営に努めてまいります。